

GREEN RADAR

Vol.500
2021

1

Contents

新春にあたって ～令和3年 年頭メッセージ～

A-Policy【重点事業方針】

- ・肥料取締法改正に伴う新規BB肥料の開発..... 2

2020年 各部のトップニュース 3

A-Reports

- ・大阪・京都・松本の各地で冬季枝肉共励会を開催 7
- ・大阪の小学校でできるこ食育授業..... 9
- ・ジェイエイオート長野創立50周年のキャンペーンを実施 9
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・1月のラジオ番組表 10
- ・編集後記..... 10



新春にあたって

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、記録的な暖冬から始まり、4月の低温、7月の梅雨の長雨など不安定な気象条件下で農産物の生育管理は困難な状況でありましたが、心配された台風については、12年ぶりに上陸が無く、無事収穫の秋を迎えることができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、農業関係においてもウイルス対策、外国人労働者の確保、農畜産物の消費動向に大きな影響がありました。依然として収束の見通しが立たない状況にあります。本年が農家・組合員の皆様にとって災害のない実り多い1年になりますことを願ってやみません。

さて、JAグループ一丸となってJA自己改革に取り組み、改

革集中推進期間において一定の評価を得てきましたが、本年3月末に迎える農協法改正5年後条項の検討も見据え、引き続き政府主導ではない自らの取り組みとして改革をさらにすすめる必要があります。

また、国際貿易交渉においては、昨年の日米貿易協定の発効に続き、本年1月1日に日英EPAが発効され、さらに東アジア地域包括的経済連携(RCEP)の発効も予定される等、今後ますます輸入農畜産物の拡大による国内農業への影響が懸念されます。政府主導による自由貿易交渉が加速し、農業がかつてない自由化にさらされ農業者の大きな不安となつていきます。農業者が将来に希望が持てる政策・対策を、政府・与党には引き続き強く訴えてまいります。

長野県本部の運営につきまして、今後も県本部総合経営管理

（令和3年年頭メッセージ）

最後になりますが、本年は「丑年」です。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は、我慢・耐える年とも言われ、これから発展する、前触れの年とも言われます。本年もコロナとの共生・共存により我慢の年となりそうですが、組合員はじめ地域の皆様のご健勝で、さらに飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

全国農業協同組合連合会長野県本部
運営委員会会長 伊藤 茂



生産資材課

肥料取締法改正に伴う 新規BB肥料の開発

■肥料取締法が改正されました

令和元年12月に「肥料取締法の一部を改正する法案」が国会で可決され、肥料に関する法制度の大幅な見直しが行われることとなりました。

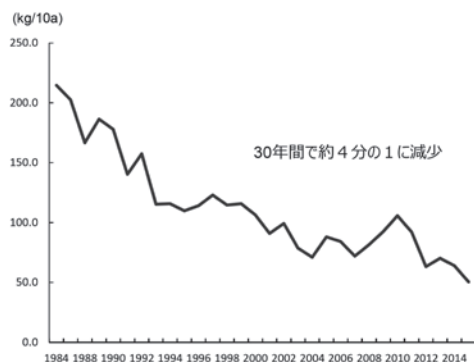
制度の見直しは大きく2回に分けて実施されることとなっており(表1)、その第1段として、令和2年12月から法律の名称が「肥料取締法」から「肥料の品質確保等に関する法律」(「肥料法」となつた他、生産者ニーズに

表1 法改正のスケジュール

施行日	改正概要	内容
令和2年12月～	法律の名称変更	「肥料の品質確保等に関する法律」に変更
	配合規制の見直し 表示の見直し	指定混合肥料制度の創設 包装表示の簡素化等
令和3年12月～ (予定)	原料管理制度の導入	原料規格の設定 帳簿の備え付け義務化 虚偽宣伝の禁止
	公定規格の見直し	規格の統合・簡素化 成分濃度の引下げ 微量要素等の表示

料の品質確保等に関する法律」(「肥料法」となつた他、生産者ニーズに

図1 水田への堆肥の投入量の推移



出典：農林水産省「肥料制度の見直し内容について」令和2年4月

国内の有用資源である産業副産物を生産者が安心して肥料として利用できるよう、肥料製造における原料管理制度が導入される予定です。

■改正の背景

これらの改正の背景には、農地の「地力低下」や「栄養バランスの悪化」が挙げられます。手間のかかる堆肥等の施用が敬遠される傾向がある中、国のデータによると水田における堆肥の投入量は過去30年間で約4分の1まで減少しています(図1)。近年の激しい

制の堅持という県本部経営管理の基本をふまえ、会員JAと二体系的な事業運営により、生産販売から購買まで一貫する総合経済事業を通じて、JA組合員の営農と生活の向上に貢献するという基本理念に添い、運営委員会会長として、引き続き健全な事業運営と長野県農業の発展に努力していく所存であります。

本年は「2019～2021 JA長野県3カ年計画重点事項」に連動した県本部「中期事業計画(2019年～2021年)」の最終年度となります。本計画は、農業生産基盤の維持強化、信州産農畜産物の販売体制強化、系統経済事業の競争力強化、地域の生活基盤の維持・発展を基本方針としています。JA・県本部との事業機能の連携をいっそう強めるとともに、本計画の確実な実践を通じて、JA組合員へのメリット還元に取り組んでまいります。

気候変動による収量や品質への影響もこうした地力の低下が関連している可能性も指摘されています。

一方で、我が国はリン鉱石やカリ鉱石等の肥料原料の多くを海外に依存しているのが実態であり、肥料価格は肥料の大量消費国の動向による国際市況に大きく影響されます。

今回の法改正の大きな目的は、これらの課題解決に向けて、土づくりや施肥の改善を行うとともに、将来にわたる肥料の安定供給のため、国内で調達可能な堆肥や産業副産物をより活用しやすい環境を作ることにあります。

■普通肥料と特殊肥料等の混合が可能に

多岐にわたる今回の法改正の中で、注目されるのが「肥料の配合規制の見直し」です。

県内で普及しているBB肥料(いわゆる「指定配合肥料」)は、国に登録された普通肥料(単肥や化成肥料等)同士しか配合することができません。

表2 肥料の分類

令和2年11月まで			
肥料	普通肥料	登録肥料(登録制)	単肥、高度化成等
		指定配合肥料*1 (届出制)	普通肥料+普通肥料(BB肥料)
		特殊肥料	米ぬか、堆肥、魚粕等
令和2年12月から(下線部：新制度)			
肥料	普通肥料	登録肥料(登録制)	単肥、高度化成等
		指定混合肥料 (届出制)	指定配合肥料*1、指定化成肥料*2 (普通肥料+普通肥料)
			特殊肥料等入り指定混合肥料 (普通肥料+特殊肥料)
			土壌改良資材*3入り指定混合肥料 (普通肥料+土壌改良資材 特殊肥料+土壌改良資材 普通肥料+特殊肥料+土壌改良資材)
		特殊肥料(届出制)	米ぬか、堆肥、魚粕等 混合特殊肥料 (特殊肥料+特殊肥料)

*1：普通肥料を単独配合もしくは水造粒・水成型した物
*2：普通肥料を配合後に水以外で造粒等した物
*3：地力増進法改正指定の土壌改良資材の一部

今回の法改正により令和2年12月からは、「指定混合肥料」という新たな肥料の分類が創設され、普通肥料と「特殊肥料(堆肥等)」や地力増進法に規定される「土壌改良資材(ペントナイト等)」を一つの肥料として配合することができるようになりました(表2)。この改正を受けて、生産資材課ではBB肥料に特殊肥料等を配合した、新たな商品の開発を行っています。これにより、これまで別々に散布する必要があった「堆肥と土づくり肥料」、「堆肥と基肥」等を一度に行うことが可能となります。

今後、この新たな「指定混合肥料」について各JAで圃場試験を実施し、早期の商品化を目指していきます。



2020年 各部の トップニュース

【生産振興部】

①農業用ドローン取得・実演・実証

スマート農業で注目されている「農業用ドローン」。自動運航が可能な最新機種「T20K」（クボタ）を国内で初めて取得し、デモフライトを重ねました。運航には本会職員（米穀課、生産資材課、農業機械課、生産振興課）4名が必要な講習を修了し、延べ20回を超える実演や実証を現地圃場にて行



本会職員によるドローンの運行

いました。ドローンでの農薬散布時間は1haを約10分程度（従来の動噴による地上散布では4〜5倍の作業時間を要す）と従来作業と比較し省力化が確認されました。粒剤散布も可能なため、次年度には水稻・大豆以外への運用も検討しながら実証や実演に取り組んでいきます。

②スマート農業コンソーシアム参加によるキャベツ機械収穫機の実証

「令和2年度労働力不足の解消に向けたスマート農業実証事業」に公募し「中山間地域におけるキャベツ収穫機械化体系の実証」として6月に事業採択を受けました。（株）グリーンワールド（JA佐久浅間子会社）軽井沢圃場にて、JA・県・農機メーカー・教育機関等と連携し実証試験に取り組みました。新型コロナウイルスの影響で外国人研修生が入国できないため労働力不足が深刻化している中、収穫機械を導入することで収穫労力の2割削減を確認できました。次年度以降の運用や今後県下各地への収穫機導入時にいいて収集データに基づく効率的な運用を進めていきます。10月には、農業高校・農業大学の学生を対象とした研修会も行いスマート農業への取り組み



キャベツ収穫機の研修の様様

について理解を深めていただきました。

【生産販売部】

①長野県青果物懇談会をWEB形式で開催

8月25日(火)にJA長野県ビルにおいて「長野県青果物取引懇談会」をWEB形式で開催しました。県内外の青果主要卸売会社5社の代表、全農長野の伊藤茂雄運営委員会会長、畠田武司県本部長、岡村達雄副本部長など11名が出席しました。

コロナ禍における各社との一層の機能連携と情報交換、直面している課題や提言をいただき、情勢の共有を図ることができました。



主催者挨拶をする伊藤会長

②新型コロナウイルス禍の花き対策

花きは、新型コロナウイルス禍での需要減少により価格低迷、一部等階級カットなど大きな影響を受けているため、次の生産者支援、需要喚起対策を行いました。

●JAグループ・県と協力した花束購

③販売開発課を新設

多様化する消費者・実需者ニーズに基づき付加価値商品の開発により、農業所得の向上を図るため、販売開発課を新設しました。フリーズドライ食品やレトルト食品のほか冷凍野菜等の商品開発を行っています。また、ネット



JR長野駅改札口に展示したアルストロメリア

入運動（10月現在6品目7434束。県内テレビ番組での県産花きおよび産地紹介、駅・JA窓口での展示、花育活動（県・生花商組合と協議会を設立し国支援事業を活用）。JAタウンでの花き販売。

【生産購買部】

①肥料法改正に伴う新規BB肥料の開発について

令和2年12月に「肥料取締法」が改正となり、法律の題名が「肥料の品質確保等に関する法律（肥料法）」に変更されました。これに伴い、肥料の配合に関する規制の見直しが行われ、新たに「指定混合肥料」が創設され



開発した商品

通販サイト「JAタウン 全農長野 僕らはおいしい応援団」の運営を行い、県内生産者や農業関連法人の所得向上をサポートしています。今後は集荷・加工（パッケージ）機能拡充のため、県内企業との連携を進めます。

②第2弾「共同購入トラクター」の取扱いはスタート

全国のJAグループで取り組みを進めている「共同購入トラクター」の第2弾が9月29日(火)に発表され、3か年の取扱いをスタートしました。

今回の共同購入トラクターは、生産者の営農規模と栽培品目の拡大支援に役立てるよう28〜35馬力クラスの開発を農業機械総合メーカー4社に要請、機能・価格面を中心とした検討を行い、

生産者eJA 全国一万人以上の声を反映

低価格を安く 必要機能を厳選 快適・安全な作業性 様々な作業への汎用性

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援する

共同購入トラクター

最新型 SL33L 中型 33馬力

SL33LFMAEP ロブス仕様 285万円(税別)

大容量48L燃料タンク 概ね1日無給油での作業可能

ノークラッチ変速 ノークラッチで増減速、前後直切替が可能

機能充実

- 自動水管理
- 自動排水制御
- 後部タンク
- オートブレーキ
- バックアップ
- 標準3速シフトのオートモードが標準搭載
- オートモードで作業中に、標準3速シフトのワンタッチ変速

JAグループからのお買いこばいたいてから 納品まで3ヶ月かかります。

JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括調達を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを提供します。

「フボタ製S133L（33馬力）」が選定されました。

今後の供給拡大に向け、生産者への紹介・推進を進めて参ります。

③農業機械サマーキャンペーン

今年は、例年開催の「JA農機&資材フェスタ」がコロナウイルス感染防止の観点から県内全JA総意のもと中止との判断をし、代替推進策として「農業機械サマーキャンペーン」を企画・実施しました。

期間内にJAより100万円以上の農業機械を購入された方を対象としたキャンペーンに、239名の方からご応募いただき、成果に繋げることができました。プレゼント商品（信州プレミアム牛肉）も好評であったとの声も聞かれました！



【畜産酪農部】

①コロナ禍での牛肉・鶏卵の需要・価格下落とJAグループでの取組み

新型コロナウイルスの影響を受けて、牛肉は外食や観光産業での需要が激減し、販売単価は4月当初で前年比約70%まで下落しました。その結果、国内在庫も飽和状態となり一時的に出荷遅延が起こるほどの状態となりました。現在は経済環境も緩和され前年比95%（11月20日現在）と、あともう一歩のところまで回復してきていますが、予断を許さない状況です。

また鶏卵は、感染拡大当初、内食需要が旺盛で、販売単価は前年比110%と堅調に推移しましたが、需要の半分以上を占める業務用（外食や観光、お土産品のお菓子等）の需要低迷と前年度の台風被害から関東主要産地が生産回復したため供給量過多となり、夏場以降の価格は前年比80%（11月20日現在）で推移しています。

このような環境下、

JAグループでは、各JAでの消費拡大運動の取り組みや、長野県、連合会や関連会社の皆さまのご協力をいただきながら、消費拡大の取り組みを長期間に渡り実施してきました。特に牛肉は、信州アルプス牛（交雑種）、信州和牛を6弾まで企画し、6,417パック（約2,4トン・12,800千円）の実績となりました。また信州産たまごを原料にしたスイーツも11月末に実施し1企画で約400千円と大変ご好評をいただきました。



信州産卵原料のスイーツを運ぶ職員

JAビル13階食堂しなの木や生産販売部とのコラボでは、様々な美味しい信州産食材を使用したランチメニューの提案や企画を行ってきました。

今後も生産者が愛情込めた美味しい信州産のお肉や卵を提供していきます。

②新型コロナウイルスによる

学校給食用牛乳休止

生乳は、今年度4月出荷分より学乳向け用途が3,8円/kg値上げになりました。しかし、3～6月上旬にかけて新型コロナウイルスにより全国の学校が臨時休校となり、学校給食が休止したため、学乳向け用途が行き場を失い、加工向け用途になるなど、生乳のプル乳価が約△1,5円/kg△2,0円/kg程度値下がりしました。そのため補助対策として国による需給緩和対策事業補助金により、9月下旬までに価格差相当額（県全体で34,603千円）、12月上旬までに配乳変更相当額（県全体で6,493千円）が生産者手取りとして補填されました。

一方、良いニュースとして、乳質改善の取り組みの結果、東海酪連の乳質表彰では10位以内に、長野県内の生産者8名が入賞しました。

【生活部】

①「JAでんき」

組合員向け推進の開始

令和元年度より取り扱いを開始した「JAでんき」は、令和2年度より先行1JAにおいて組合員向け推進を開始しました。新規成約時の電気料金を3か月間値引きする「JAでんきおトクキャンペーン」等の企画により、契約件数を拡大しています。

引き続き「JAでんき」の取扱拡大に向けて取り組みを進めるとともに、石油・LPGガスを含めたホームエネルギー

ギーの提案により、組合員の営農・生活コストを低減し、所得向上に貢献していきます。

②ENEOS EneJet始動

JAグリーン長野管内アグリシのいセルフSSでは、今年度4月より長野県JA-SS1号店として、ENEOS新ブランドSS「ENEOS EneJet」が始動しました。

「ENEOS EneJet」の「Smart & Convenient（先進的で、早くて、きれい、使いやすく、便利）」をブランドコンセプトとし、EneKey（非決済ツール）

などのスピード決済ツールの導入促進や、高いレベルでのSS店内の美観維持にも取り組んでいます。

SS業界は日々競争の激化が進んでいます。JAらしいキャンペーンやサービスの充実等にも取り組み、「地域組合員・お客様に愛されるJA-SS」を目指し、運営してまいります。



③コロナ禍におけるセレモニー・宅配・家庭薬事業の取組み強化

新型コロナウイルス感染症の拡大により、生活関連の事業は大きな影響を受けました。

セレモニー事業は3密回避により小規模葬が主流となり葬儀後の会食も自粛となりました。「新しい生活様式」の普及によりさらに小規模葬儀がすすむため、今後もオリジナル葬の提案やオプションの強化、会食に代わるギフト商品の提案やオンライン葬儀サービスの研究をし、組合員のお役に立てる葬儀施行に取り組んでまいります。

宅配事業においては、買い物自粛や巣こもりの流れに対応した商品提案とPR強化により利用単価が増加しました。引き続き利便性のPRと商品強化により、会員維持に努めてまいります。家庭薬事業は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下においても「継続が求められる事業」と位置づけられ、その重要性が再認識されました。

事業環境の厳しさは変わらない状況にはありますが、組合員のニーズに沿った取り組みをしてまいります。

大阪・京都・松本の各地で冬季枝肉共励会を開催 信州の牛肉が各共励会で高評価

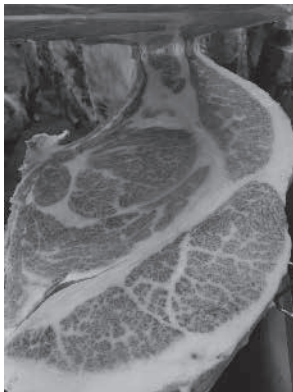
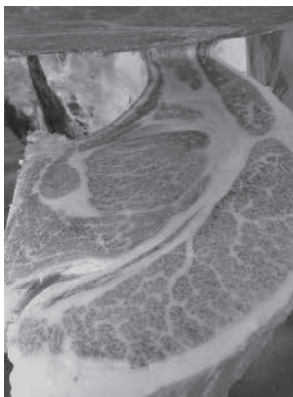
牛肉消費は、例年11月下旬から年末年始にかけて、最大の需要期を迎えます。今年はコロナ禍での年末商戦となり、4月以降続く牛肉の消費低迷から一転し、GOTOトラベルやGOTOイートなど政府による観光事業や給食提供事業、冷凍保管事業の効果で枝肉価格は回復傾向にあります。このような状況の中で、信州産のおいしい牛肉をPRすべく、JA全農長野では県内外で各種の共励会を開催しました。

■長野県主催「第3回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都」開催

3回目を迎える長野県主催の共励会は、新型コロナウイルス対応としてセリ前に阿部知事のビデオメッセージを上映。肉量、肉質、脂肪の質等の審査、順位決定された46頭が上場されました。また、関西地域の食肉専門店、スーパー、焼き肉レス、トラン等協賛した38店舗でフェアが開催されました。



第3回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都
最優秀賞・長野県知事賞
(竹測洋平さん)



第41回信州和牛(県内産)
枝肉共励会最優秀賞
最優秀賞・長野県知事賞受賞
(竹測洋平さん)

■オール信州に続きJA松本ハイランドの竹測洋平氏が最優秀賞受賞
第41回信州和牛(県内産) 枝肉共励会を京都食肉市場にて開催しました。この共励会には、生粋の長野県生まれ・長野県育ちの信州和牛37頭を上場しました。信州プレミアム牛肉およびA4以上の比率が94・6%と、生粋の信州和牛が高品質と評価されました。コロナ禍にもかかわらず、昨年を大きく上回るセリ結果となり市場購買者からも信州プレミアム牛肉について絶大な評価をいただきました。



■信州プレミアム牛肉上場9年目の
大阪市食肉市場(株)で最高の評価
第73回長野県畜産共進会和牛肥育の部を大阪市食肉市場(株)で開催し、JA洗馬の安塚益雄さんが最優秀賞を受賞

しました。冬の共励会では最高値で取引され、和牛去勢は昨年を上回る成績

で、信州プレミアム牛肉・信州和牛を大いにPRすることができました。



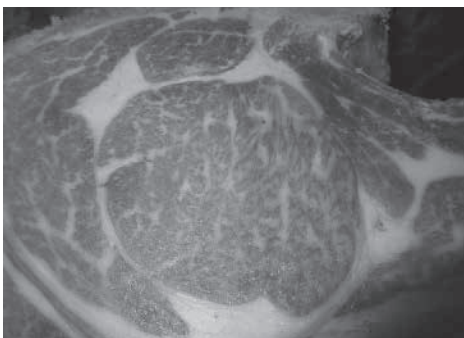
第73回長野県畜産共進会和牛肥育の部セリ風景



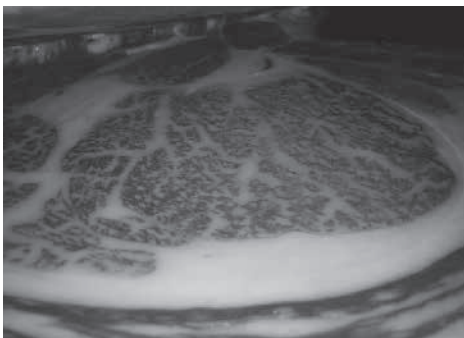
■長野県食肉公社にて畜産共進会・松本即売会を連日開催
第73回長野県畜産共進会交雑牛の部および第69回信州肉牛松本即売会を長野県食肉公社にて開催しました。交雑の部はJA松本ハイランドの小林和義さん、即売会ではJA洗馬の安塚益雄さんが最優秀賞を受賞しました。両日出品された信州の牛肉は、長野県農協直販(株)が開催する「信州の牛肉展示即売会」にて販売され、(株)長野県A・コープをはじめ多くの取引先様の年末商戦の目玉として販売されました。

今後畜産課は、信州の牛肉消費拡大および県内外へのブランドPRに向け取り組みんでいきます。

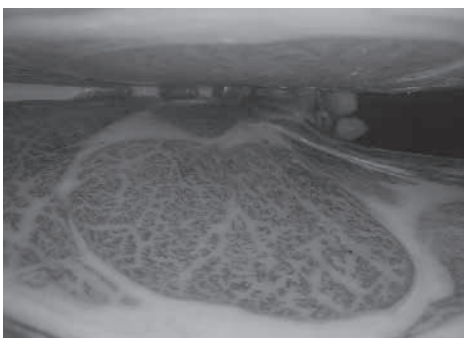
この冬は信州産牛肉を買って、生産者の皆さんを応援しましょう！



第73回長野県畜産共進会 和牛肥育の部 最優秀賞(安塚益雄さん)



第73回長野県畜産共進会 交雑牛の部 最優秀賞(小林和義さん)



第69回信州肉牛松本即売会 最優秀賞(安塚益雄さん)

11月16日(月) 第3回信州プレミアム牛肉オール信州共進会 in 京都(長野県主催)					
出品頭数:和牛46頭(本会:23頭) 場所:京都食肉市場(京都市)					
最優秀賞	JA松本ハイランド	竹測 洋平	589.2kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞	JAながの	(農)美雪ファーム樋口	567.9kg	去勢A5	BMS.12
共励会成績	和牛去勢	平均枝重 549.0kg	平均単価 2,521円		
	和牛雌	平均枝重 481.4kg	平均単価 2,471円		

11月30日(月) 第41回信州和牛(県内産) 枝肉共励会					
出品頭数:和牛37頭 場所:京都食肉市場(京都市)					
最優秀賞	JA松本ハイランド	竹測 洋平	566.9kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞	JA洗馬	安塚 益雄	617.9kg	去勢A5	BMS.12
	南信酪農	中原 洋	549.0kg	去勢A5	BMS.12
優良賞	JAみなみ信州	木下 豊子	531.7kg	雌A5	BMS.12
	JA松本ハイランド	(有)高原牧場	539.0kg	去勢A5	BMS.12
素牛生産者賞	長野ハケ岳		伊藤 太郎		
共励会成績	和牛去勢	平均枝重 542.5kg	平均単価 2,694円		
	和牛雌	平均枝重 467.2kg	平均単価 2,663円		

12月1日(火) 第73回長野県畜産共進会 和牛肥育の部					
出品頭数:和牛48頭 場所:大阪市食肉市場(大阪市)					
最優秀賞	JA洗馬	安塚 益雄	663.6kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞	JA佐久浅間	(株)グリーンフィールド関牧場	614.4kg	去勢A5	BMS.12
	JA松本ハイランド	(有)アグリランド松本	577.0kg	去勢A5	BMS.12
優良賞	JA長野ハケ岳	津金 武幸	580.4kg	去勢A5	BMS.12
	JA松本ハイランド	(有)アグリランド松本	617.4kg	去勢A5	BMS.12
	JA松本ハイランド	竹測 洋平	633.8kg	去勢A5	BMS.12
共励会成績	和牛去勢	平均枝重 567.4kg	平均単価 2,731円		
	和牛雌	平均枝重 497.9kg	平均単価 2,465円		

12月4日(金) 第73回長野県畜産共進会 交雑牛の部					
出品頭数:交雑種30頭 場所:長野県食肉公社(松本市)					
最優秀賞	JA松本ハイランド	小林 和義	546.5kg	雌A5	BMS.8
優秀賞1席	JA佐久浅間	高塚 賢一	446.5kg	雌A5	BMS.8
優秀賞2席	JAながの	農協直販長野第1農場	542.5kg	去勢B4	BMS.7
優良賞	JA佐久浅間	(株)グリーンフィールド山浦牧場	629.6kg	去勢B4	BMS.6
	JA佐久浅間	重田 嘉宣	534.6kg	雌B4	BMS.6
共励会成績	交雑種去勢	平均枝重 577.8kg	平均単価 1,667円		
	交雑種雌	平均枝重 511.1kg	平均単価 1,595円		

12月5日(土) 第69回信州肉牛松本即売会					
出品頭数:和牛32頭 場所:長野県食肉公社(松本市)					
最優秀賞	JA洗馬	安塚 益雄	559.4kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞1席	JA松本ハイランド	(有)アグリランド松本	512.8kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞2席	JAみなみ信州	(株)夢ファームみなみ信州高森農場	534.6kg	雌A5	BMS.11
優良賞	JA信州諏訪	(有)武居商事	551.4kg	去勢A5	BMS.11
優良賞	JA松本ハイランド	竹測 洋平	532.6kg	去勢A5	BMS.11
優良賞	JAながの	(農)美雪ファーム樋口	481.1kg	去勢A5	BMS.11
共励会成績	和牛去勢	平均枝重 521.2kg	平均単価 2,726円		
	和牛雌	平均枝重 494.0kg	平均単価 2,586円		

大阪の小学校できのこ食育授業

JA全農長野大阪販売事務所は11月13日(金)、20日(金)、27日(金)の3日間、大阪府豊中市の小学校3校(光明小学校、庄内南小学校、豊島小学校)の4年生全5クラス(179名)で、きのこの食育授業を開きました。もぎ取り体験を交えて、長野県やきのこ栽培について学び、児童1名に1セットずつ、家庭での食育用としてのきのこセットやレシピなどを贈りました。

こ栽培について説明しました。栽培ビンのままのきのこを用意し、児童は、初めて見るビンのきのこに興味津々の様子で、もぎ取り体験を楽しみました。お土産のきのこを食べた児童からは「これまで嫌いだっただが、ちょっと好きになった」「これからきのこをもっと食べたい」といった感想が届けました。

食育授業では、大阪販売事務所の職員が、全農長野農産物PRキャラクター「信州力」に扮して長野県やきのこの

新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、全農長野の職員は一部不参加となった小学校もありましたが、ビンのきのこ生産工程が分かる資料を提供しました。



きのこのもぎ取り体験をする児童

大阪販売事務所では、子どもの頃からきのこのおいしさを知ってもらい、長野県産きのこのファンになってもらうと、今後もうこうした食育活動を続けます。

ジェイエイオート長野 創立50周年のキャンペーンを実施

ジェイエイオート長野は昭和45年の設立から50周年を迎えました。メインとなる営業車から新車・中古車を含めた自動車販売と、車検・定期点検から板金塗装までの自動車整備を行っており、6JA(現4JA)の自動車事業と統合して事業を進めてまいりました。

その間ご利用いただいたJA組合員・職員の皆さまならびに全農・各連の職員の皆さまに感謝を込めて、このたび記念のキャンペーンを行います。今回のキャンペーンは毎年1月から3月に県下JAで一斉に実施している「わくわくドキドキモーターキャンペーン」(本誌裏面参照)に合わせた開催となり、さらにプレゼント企画を追加いたしました。車ご購入の方にはカタログギフトと特産品(抽選)を、

車検を実施された方に記念のトートバッグをプレゼントいたします。また、1月18日(月)から21日(木)の新春フェアでは、JAサンバーと新たに取り扱いが始まったJAキャリイのお買い得ワンプライス車をご用意します。皆さまのご利用をお待ちしております。



50周年記念のプレゼント

JA全農長野の事業現況

令和2年度11月末部門別実績表

(単位: 百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
野菜種苗センター		123	84	94
生産振興部計		123	84	94
米	穀	12,774	99	100
果	実	32,090	107	113
野菜花き		57,428	89	101
きのこ		12,223	94	108
営業		11,666	97	115
生産販売部計		126,180	95	105
包装資材		5,825	91	96
生産資材		6,820	91	93
農業機械		6,527	124	127
施設住宅		2,905	114	61
生産購買部計		22,077	102	95
畜産		7,705	90	89
三岳牧場		170	88	76
SPF繁殖センター		203	100	100
酪農		12,235	101	101
八ヶ岳牧場		157	87	93
畜産酪農部計		20,469	96	96
燃料・ホームエネルギー		12,924	75	81
SS協同経営		5,064	85	69
生活		6,246	84	79
生活部計		24,234	79	78
長野県本部計		193,084	94	99

(内部販売高含む)

1月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
1/27(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶり内「暮らしの応援団」	燃料・ホームエネルギー課
毎週火曜日 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品に関する様々な情報をお届け。リスナープレゼントもあります。

編集後記

新たな年、丑年がスタートします。牛は昔から農作業の労働力として人間の生活に深く関わってきた動物です。勤勉によく働く姿から「誠実さ」を象徴するとされているそうです。そんな牛にあやかり、農作業の安全と元気をもらいたいです。

昨年は新型コロナウイルスに振り回され、未知のウイルスへの感染防止対策をとるのみでありました。ワクチン接種・治療薬の開発が待たれる状況にありますが、一年先送りとなった東京オリンピックや、その他のスポーツ等が予定どおり開催されることを大きく期待します。あわせて新型コロナウイルス感染症の収束を願ってやみません。

さて、広報・宣伝関係では松本山雅FCがJ2で奮闘したものの、厳しい状況が続きました。J1復帰を切望。御嶽海関は大関とりにもうひと押しでしたが、仕切り直しといったところ。また小平奈緒選手はシーズンインとなりましたが、ワールドカップ等の大会が中止になっており、思うように調整がすすまないようです。が、好調を維持しシーズン本番の活躍に期待したいと思います。

(Y)



2021 県下一斉
春のわくわく
ドエドエ
モーターキャンペーン

キャンペーン期間

1/1(金) ▶ 3/31(水)

●車検実施のお客様の中から抽選で

JA特産物 135名様
プレゼント!!

*当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

今がお買い求めのチャンスです!

期間中JAオートパルまたはJA自動車整備工場にて

●クルマをお買い上げのお客様の中からハガキ応募・抽選で

旅行券 2万円×40本

商品券 3千円×100本

プレゼント!!

*当選者の発表は通知書及び商品の発送をもって代えさせていただきます。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

